

園田高弘 Memorial Series in 2017

「ピアノは歌詞の無い歌、無言歌のようなものだ。
背景にあるものをすべて自分の内に蓄積して、
それが血となり肉となって、初めて指先から音楽が生まれてくる。」

園田高弘 著『ピアニスト、その人生』より



ドビュッシー

前奏曲集全曲

と 牧神の午後への前奏曲



Deu'or



Chie Hirai



Yuma Osaki



Ayako Kawai



Kazumasa Matsumoto



Norie Takahashi



Ayano Shimada



Masaru Okada

出演
大崎 結真
岡田 将
川井 綾子
島田 彩乃
高橋 礼恵
ドウオール
平井 千絵
松本 和将

2017

10/7 (土)

pm2:30 開演 2:00 開場

3000円 (全自由席)

- チケット取扱い
チケットぴあ ☎ 0570-02-9999 pコード341751
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (PC・携帯 共通)
- お問合せ/チケット取扱い
スピカ ☎ 03-3978-6548 ✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

JTアートホールアフィニス

港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F ☎03-5572-4945

東京メロ
◇銀座線「虎の門」駅
3番出口より徒歩4分

◇南北線「溜池山王」駅
9番出口より徒歩5分

◇日比谷線、丸の内線、千代田線「霞が関」駅
A13番出口より徒歩7分



【主催】スピカ

若きピアニストの飛翔を願い、故・園田高弘氏がスタートさせた「園田高弘が推薦する旬のピアニストシリーズ」
園田氏の遺志を継いで、春子夫人がスタートさせた「シリーズPianists」
両シリーズの出演者は、現在、それぞれにピアノ界の貴重な存在として充実した活動を展開しています。
その旬のピアニストたちが、心躍らせながら真摯に弾き繋ぐシリーズをお楽しみ下さい！

～園田高弘Memorial Series in2017 出演者～



大崎 結真
Yuma Osaki

東京藝術大学付属高校を卒業後、イモラ音楽院、パリ国立高等音楽院大学院で学ぶ。浜松、ロン＝ティボー、ルービンシュタイン、ジュネーブ、リーズ他、多数の国際コンクールに入賞後、国内外で活発に演奏活動を行う。日本ショパン協会賞を受賞。



岡田 将
Masaru Okada

高校在学中に日本音楽コンクール優勝。高校卒業後、渡欧し、ベルリン芸術大学にて学ぶ。リスト国際ピアノコンクール優勝(日本人初)など多数のコンクールで優勝・入賞する。出光音楽賞、日本ショパン協会賞などを受賞。現在、神戸女学院准教授。



川井 綾子
Ayako Kawai

桐朋学園大学を卒業後、渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院を首席で卒業。サレルノ国際コンクール、マリア・カナルス国際コンクールで最高位となるほか、多数のコンクールで入賞。現在、フェリス女学院大学、愛知県立芸術大学講師。



島田 彩乃
Ayano Shimada

桐朋女子高校を首席で卒業。パリ国立高等音楽院、エコールノルマル音楽院、ライプツィヒ音楽大学で学ぶ。ジャン・フランセ国際コンクール優勝など数々のコンクールにて優勝、入賞。現在、国内外で活発な活動を展開。上野学園大学講師。



高橋 礼恵
Norie Takahashi

桐朋学園大学を首席で卒業。ベルリン芸術大学・同大学院にて学ぶ。ボン・ベートーヴェン国際コンクール2位など、多数のコンクールで上位入賞。近年は、ベルリン芸術大学教授のビョルン・レーマンとのピアノデュオにも力を注ぐ。現在、ベルリン在住



ドゥオール
藤井隆史 & 白水芳枝

各々東京藝術大学卒業。マンハイム音楽大学大学院ソロ科、ピアノデュオ科最優秀修了。デュオとして国際的な受賞を重ね、600を超える公演を展開。CD「2台のピアノのためのゴルトベルク変奏曲」はレコードアカデミー賞器楽部門ミニネート盤となる。



平井 千絵
Chie Hirai

桐朋学園大学ピアノ科を卒業後、ハーグ王立音楽院古楽科を首席で卒業。IYAP国際古楽コンクール優勝など多くのコンクールに入賞し、フォルテピアノ奏者として活躍。近年は、モダンピアノの演奏も活発に行う。現在、東海大学非常勤講師。



松本 和将
Kazumasa Matsumoto

19歳で日本音楽コンクールに優勝。翌年より活発な演奏活動を展開。東京藝術大学在学中にベルリン芸術大学に留学。エリザベート王妃コンクール、ブゾーニ国際コンクール入賞。ソロと並行して室内楽にも力を注ぐ。岡山芸術顕賞などを受賞。



園田 高弘 (1928年9月17日～2004年10月7日)

1948年東京音楽学校(現・東京藝大)を卒業し、日本交響楽団(現・N響)との共演でソリストとしてデビュー。1954年、初来日したカラヤン指揮のN響と共演。それがきっかけとなりベルリンフィルとの共演などヨーロッパ各地で活躍。国際的ピアニストとして、エリザベート、ショパン、チャイコフスキーなど世界の名だたるコンクールの審査員を度々務める。終生、演奏活動に情熱を傾けるとともに、後進のための活動にも心血を注ぎ、日本の音楽界を牽引。1971年芸術院賞、77年モービル賞、97年サントリー賞、98年文化功労者顕彰などを受賞。1980年芸術院会員